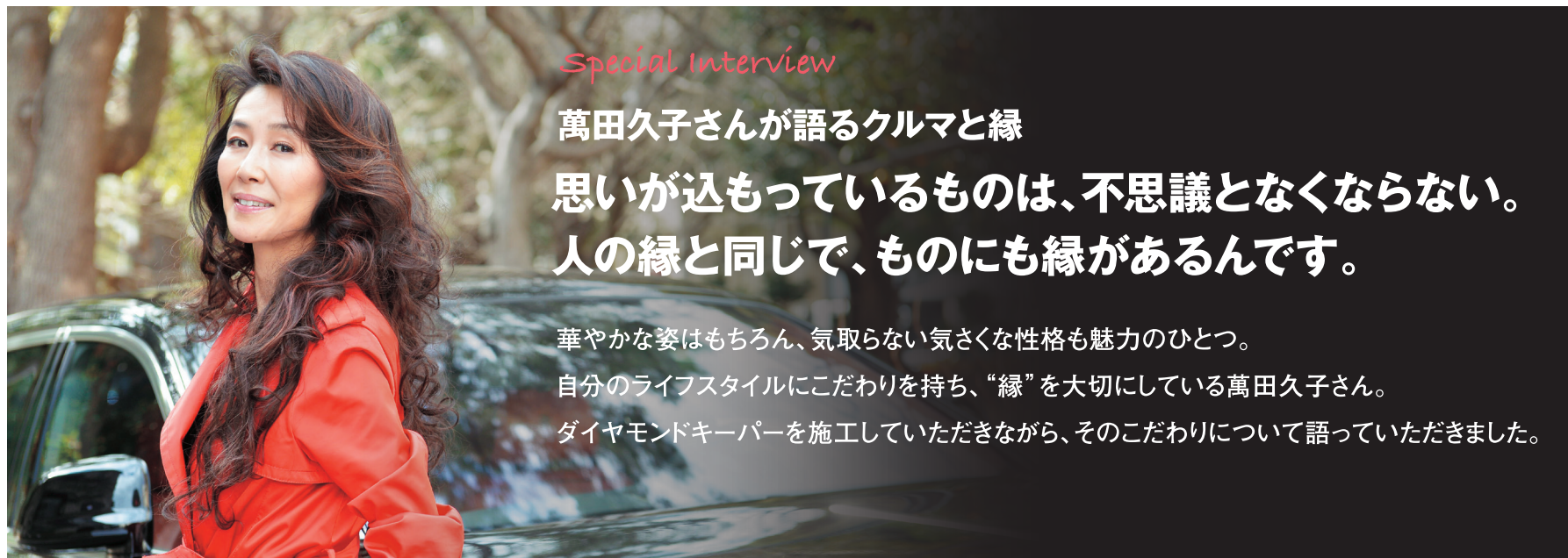


カーライフを楽しむためのコミュニケーションペーパー

Keeper Fan!!



Special Interview

萬田久子さんが語るクルマと縁

思いが込められているものは、不思議となくならない。
人の縁と同じで、ものにも縁があるんです。

華やかな姿はもちろん、気取らない気さくな性格も魅力のひとつ。

自分のライフスタイルにこだわりを持ち、“縁”を大切にしている萬田久子さん。

ダイヤモンドキーパーを施工していただきながら、そのこだわりについて語っていただきました。

ツヤが出て、ピカピカ。
私にもコーティングしてほしい!

クルマを初めて買ったのは、免許を取ったばかりのころ。「絶対ぶつけるから、中古車にした方がいい」とディーラーの友人にいわれ、ホンダのアコードを持ってきてもらいました。早く自分の好みの車に変えたくて、暇さえあれば、ドライブして運転が上手になろうとがんばりました(笑)。自分の好きな形と色じゃないと愛着がわかなくて。本当は気に入ったクルマはずっと乗りたいタイプ。以前乗っていたジャガーは気に入って「おばあちゃんになるまで乗りたい!」と何度も修理に出しましたが、道路の真ん中で動かなくなってしまいました。洋服もそうなんですけど、そのときの気分にあったものでないと落ち着かないんです。

今は黒で四角いフォルムのセダンが好きです。お手入れは任せっきり(笑)。でも今回ダイヤモンドキーパーを施工した自分のクルマを見てびっくりしました。ツヤがでて、ピカピカに輝いて。「私にもコーティングしてくれないかしら?」なんて思いました(笑)。

こだわりのあるものを、
使うことを想像しながら買うのが楽しい

私は、男性でも女性でも、こだわりを持っている人に惹かれます。高価なものでなくても、本当に自分が良いと思うもの、誇れるものを持っている人と話が共感できるとすごくうれしいですね。

私のこだわりは、自分の気に入ったものを大切に長く使うことかな。京都に行くとき骨董品や美術品のお店に行って、よく器を見ます。古布屋さんのものぞいたりします。「こ



の器には、この料理を盛れば美味しくなるわ」とか「この布で、服を作ったらキレイだな」とかいろいろと想像するのが楽しいんです。気に入った器は普段遣いするので、つい割ってしまって金継ぎだらけ(笑)。デビューしたのころに買ったフライパンとパン切りボード、ペッパーミルは未だに残っていて、使うたびに当時のことを思い出します。それから4歳のころに母に買ってもらったバービー人形も大切に持っています。母は私にバービー人形とおそろいの洋服を何着も作ってくれました。

不思議なんですけど、何回引っ越しをしてもついでくるものと、何度買い直してもなくなってしまうものがあるんですよ。例えば、すごく仲が良かった友達とケンカしたわけでもないのに縁がなくなってしまうことってありますよね。そういった人との縁と同じで、ものにも縁というものがあるんだと思います。やはり、買ったときや使っているときの思い出が込められたものは、なくなっていくくないみたいです。

人生を楽しむために、努力は必要

この年齢になると、いろいろな別れを味わいます。人間の命はいつかなくなってしまうことを痛切に感じます。でもだからこそ、今を思いっきり、精いっぱい楽しもうと思っています。

以前、イタリア女優のソフィア・ローレンさんと会食する機会があったんです。彼女は年齢が80歳に近いのに、

ウエストとヒップをキュッと引き締め、背中を開いたドレスを纏って、ピンヒールを履き、外の景色を眺めながらシャンパンを飲んでいました。その姿の格好良かったことといったらありませんでした。美を保つにはやっぱり努力が必要だな、私も頑張ろうと思いましたね。いつまでも美しくいたいということもありますが、私の人生を楽しむために必要なものだと思うから。

人との出会いと縁を大事に、
精いっぱい楽しむ

とにかく私はじっとしていると死んでしまうんです(笑)。私たちは団塊世代のちょっと後になるのかな?高度経済成長からバブルの時代は特に面白かったです。たぶん私たちの世代って他の世代よりアクティブで好奇心旺盛なんじゃないかしら。でもアクティブさは見せたくないんですよ。水に浮かんでいる白鳥みたいに水面下では足をバタバタさせてるんだけど優雅でいることが美德というか。

いろんなことに興味を持ち過ぎて疲れたこともありましたが(笑)。でも今は、時間に余裕が生まれてきました。人との出会いや縁を大事にし、自分のやりたいことを見つけたい、楽しんで生きていきたいと思っています。



萬田久子(まだ・ひさこ)

大阪生まれ。1978年にミス・ユニバース日本代表に選ばれる。80年にNHK朝のテレビ小説で女優デビュー。以後、テレビ、舞台、映画、CMなどで活躍。著書にエッセー『萬田流』(幻冬舎)、『萬田久子の感じる着物』(講談社)、『萬田ルールズ』(朝日新聞出版)などがある。